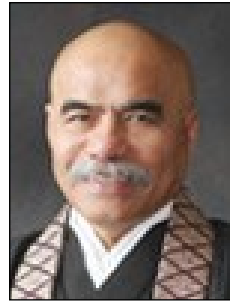




本派本願寺羅府別院 輪番法話



輪番 ウィリアム ブリオネス

地獄

念仏は、まことに浄土に生まるるたねにてや...

歎異抄 第二条

ロサンゼルスで僧侶としてお仕事をさせて...

ディスカッションは論破を目的としたものでは...

L.A. Hompa Hongwanji Buddhist Temple 815 E. First Street Los Angeles, CA 90012

でいますので、お互いに異なった考えや見方に...

西洋の文化圏にいる私たちが地獄と云って...

仏教では、地獄の根源は私たちの苦しみである...

六道の最下層が地獄と言われていますが、その...

(三二面へ)

ページ案内

- 一頁 総合
二頁 この話ご存じ
三頁 法話、コラム
四頁 弔意・感謝録
西の思い出

最近の別院の写真

夏はキャンプ行事が続きます。今年は西心道場が...



また、LABCCキャンプが7月下旬にキャンプモー...

羅府別院理事長より



理事長 田端 パメラ

とここで、この時報が皆様のお手元に...

つい最近、私に新しい男の子の孫が...

しかし、それは彼に限ったことではあり...

皆様のお陰で今年のお盆も無事終える...

【九月 十月のご案内】

永代経祥月法要 (於 ハイブリッド)
九月十一日(日) 午後一時

秋季彼岸会 (於 ハイブリッド)
九月十七日(土) 午前九時半 英語 日本語

秋季彼岸会 (於 ハイブリッド)
九月十八日(日) 午前十時

恵信尼・覚信尼追悼会 (於 ハイブリッド)
十月二日(日) 午前十時

御講師 見義信香 師(ウエストコペナ東本願寺)
永代経祥月法要 (於 ハイブリッド)
十月九日(日) 午後一時

日曜礼拝 (於 ハイブリッド)
毎週日曜日 午前十時

別院お休み (Labor Day)
九月六日

ハイブリッド: 本堂Zoomの() 参拝を選択できます。...

本派本願寺羅府別院

【この話ご存知でしたか】

増山 栄子
伊藤千鶴子
翻訳

【BCA Newsletterサンフランシスコの米国仏教団】1965年4月
【WYABIからWABLへの大変貌タッド ヤマシロ新会長】

ペンリンのタッド ヤマシロ氏は、1965年2月6日と7日にパロアルト仏教会で感謝をテーマに開催された第11回西部青年仏教徒連盟会議で新たに改名された西部成人仏教徒連盟の会長に選出されました。彼はロサンゼルスと柴田義夫氏の後継者になります。会議では「西部青年仏教徒」から「青年」を削除し、新たな団体名として西部成人仏教徒連盟へと改名しました。

BCA奨学生に選ばれたオークランドのやまおか はるお開教使が今会議の基調講演を行いました。彼の感動的なメッセージは大変好評でした。

会議で注目となった行事はグループ討論でした。グループでは、「仏教1975」について、安孫子 義幸 開教使とD.D. 宗方 亮を主要な援助講師として話し合いました。ふじたに まさみ開教使がこのグループの議長を務めました。

グループでは「仏教と世界公民権」を取り上げました。カル スタインメッツ氏が議長を務め、米国勤務期間中のセイロンの判士 ウォルター Wimalachandra氏が援助講師を務めました。彼の深い知識と卓越した人柄は、この討論グループに参加した人々に深い感銘を与えました。



写真上：1964年、しばた よし理事長がWABLの\$625の小切手を日曜学校の会計係J つむら開教使に手渡す。\$1000の小切手を仏教教育理事のT. つじ開教使に贈呈。



写真右：南部リーグ仏教ライフバスケットボール選手権にて、部門別優勝トロフィーを誇らしげに掲げる、出場チームのキャプテンたち。最前列左から右：アイリーン わたなべ、ロサンゼルス【Beeリーグ】クライド いわた、ロサンゼルス【Ceeリーグ】カレン そね、ロサンゼルス【Ayeリーグ】後列：スタンリー しらい とりチャード なかむら、ロサンゼルス【Beeリーグ】ロン かとう、オックスナード、【Ayeリーグ】

「この大接戦の試合を制して、リーグタイトルの称号を手に入れました。チャンピオンに輝いたオックスナードのチームメンバーは

グループEのテーマは「信仰の課題」でした。日本語を話す代表者に向けて、カリフォルニア大学サンタバーバラ校で非常勤講師を務める宮地かぐえ教授を援助講師として迎えました。グループは増永 正公開教使が議長を務めました。

「第2回南部地区仏教徒ライフバスケットボールリーグが終了 オックスナードがAyeの部で優勝」



写真上：仏教ライフバスケットボールのコミッショナーミッツ さかにわ氏は、LA本派本願寺別院から彼の青少年活動プログラム開発における献身と顕著な貢献に対して特別賞が授与される。別院から代表して升岡隆英輪番と宝崎久治理事長が記念品を贈呈。

以下の通りです。ケン かなもり、テッド かなもり、ラリー かわだ、アル みやもと、ロン かとう、グレン まつ、カール、たなか、ポール みやもと、ジョン みやもと。Ayeの部に参加したチームは以下の通りです。オックスナード、LA別院、ウエストロスアンゼルス、ベニス、ガードナ、パサデナ。

一方、LA別院はその他の部を席巻し、Beeの部とCeeの部で優勝しました。Beeの部では、LAがオレソングカウンティ、ガードナ、パサデナ、ウエストロスアンゼルスに勝利し、無敗でシーズンで通過しました。LA別院のメンバーは以下の通りです。エディ ささき、デビッド おさき、ランス あらたに、ミッチェル おおうち、ハリー なかの、スタンリー しらい、リチャード なかむら、ネルソン いたたに。LA別院は、Ceeの部で対戦を繰り返すうちに、来年の対戦に向けて自身のチームの強みを自覚していきました。LAワンジは、ガードナとパサデナからいとも簡単に価値をもぎ取り、チームの戦績は三連勝無敗でした。ワンジのメンバーは以下の通りです。ケン わたなべ、クライド いわた、ジーン すきもと、グレン なかの、ゲイリー みやたけ、メルビン はら、キース さかにわ、デイリン ながもと。

「別院 時報」1965年2月1日
「他のすべてを持っていく人に向けて」
贈り物の新しいアイデアについては、ロサンゼルス別院日曜学校営業部にまでお問い合わせください。相手が仏教徒という前提で、適当な価格設定で品物を用意します。以下は例です。

- 大型お仏壇 \$75,000
- ミニサイズお仏壇 \$28,000
- 位牌 \$7,500
- 打敷 \$1,250
- 仏教徒のサイン本(結婚式等) \$1,000
- 法輪(ネットワークス/ラペル用) \$2,850+
- お数珠(大人用) \$1,350+
- お数珠(子供用) \$200+
- 本(非仏教徒でも感謝するかもしれせん)

「お別れと歓迎」
十月、おかはし せいこ開教使を(少なくともしばらくは)を送り出しました。その後、飛騨 専精開教使と井上宣正開教使をお迎えしました。
ご存知のように、おかはし せいこ開教使は別院のハリウッド支部寺院を担当されていきました。彼女は家族や開教使職関連の事を対処するために、十月十六日に日本に行く予定です。彼女がいつ戻るかはまだ定かではありません。
飛騨 専精開教使が十月六日にハワイからサンフランシスコ経由でLAに来れました。同師は長年ハワイの開教使を務められて、今回が初めての本土の着任になり、ご家族も同行されています。
井上 宣正開教使は十月上旬に到着されます。LAの前はブレサール仏教会の開教使でした。赴任地が変わる間の約三ヶ月間は日本に一時帰国されたからの再渡米です。
十月十日(日)午後三時から、別院の階下ホールで三人の開教使の送別会と歓迎会が催される予定です。

(一面続き) 第一の地獄は「等活地獄」と呼ばれる地獄で、そこに落ちた者は獄卒によって頭から切り刻まれていきます。全く形をとどめなくなるまで切り刻まれると、そこに一塵の風が吹いてきて、また元の姿に戻るのです。そうしてまた頭から切り刻まれる。これが繰り返して、繰り返して、終わることがないのがこの等活地獄です。これは殺生を犯した者が落ちる地獄で、これが八大地獄の中では最も軽い地獄なのです。

最も罪の深い者が落ちる第八の地獄が「無間地獄」と言います。そこに落ちた者は溶けた鉄を口から流し入れられ体の中から焼き尽くされまします。また口から炎を吐く獣に食い尽くされます。ここはそれまでの七つの地獄の苦しみを合わせたよりも深い苦しみを受ける場所です。

ただこの地獄の苦しみが永遠ではありません。途方もない時間を要しますが、罪に見合う苦しみを受け尽くした時には六道の中の別の世界に移ると言われています。しかし、苦しみを受けるのは地獄だけとは限りません。六道の中の餓鬼道や畜生道、阿修羅道と同じく罰を受け苦しむと書かれています。

お盆でよく語られる木蓮尊者の母親の話を出した方も多いのではないのでしょうか。母親は死後餓鬼道に堕ちて苦しんでいたのです。餓鬼道は妬みや貪欲に振り回された人が生まれ変わる世界です。ここに堕ちた者は飢餓に苦しめられ、食べ物を食べようとすると、口が針の穴ほどの大きさがなく、物が食べられない、または食べようとすると食べ物が炎となってしまうのです。

源信僧都の地獄の描写は私たちに自ら作り出している苦しみに目を開かせるためのものではないでしょうか。そして私の身を離れて地獄はない、という目覚めが実は浄土往生への道を開くのです。

浄土真宗においては、仏教を自覚の宗教と考えます。私たちが自らの無明性に深く領いた時、自らが作り上げた地獄で苦しむ者としての自己が明らかに見えてくるのです。そして、その気づきが、そのような私

だからこそ浄土に往生する身となるのだという深い喜びの実感となるのではないのでしょうか。

冒頭で紹介したのは『歎異抄』の第二条です。親鸞聖人の「いづれも行もおよびがたき身なれば、とても地獄は一定すみかぞかし。」というお言葉が記されています。

幾重にも重なった深い意味のあるお言葉ですが、なかでも私は親鸞聖人のこの「地獄は一定すみかぞかし」という言葉をとても有難く聞かせていただいています。地獄を語る時、聖人は未来について語るのではなく、今の自らの行いに深く心を寄せておられるのを感じるからです。仏教では私の行いを離れて地獄を見ることはありません。地獄は常に作り続けている業と深く結びついているのです。業は宿命ではありません。業とは行為とその行為によってもたらされる結果なのです。六道をめぐるとは今の行いによってもたらされる結果であります。經典には「過去を知ろうと思えば、現在生きている人生がその結果である」と知れない。未来を知ろうと思えば、今の行いがその因となることを知りなさい」と説かれています。

「地獄は一定すみかぞかし」というお言葉には、親鸞聖人の煩惱具足の身以外に私のあり方はない、という深い領きが表れているように感じます。

この人生を離れて地獄はない、という目覚めのない者は、同時に浄土をもこの身とかけ離れた遙か遠くのものとしてしまっているのです。

キリスト教と異なり、仏教は誰が報われるべき人間で、誰が罰せられる者かという審判を下したりはしません。死後に私たちがどうなるのかは分からないというのが仏教の答えです。けれども、地獄を通して自らの罪に深く目覚める時、今いただいているこの瞬間の命の深さに本当に目覚めることができるのではないのでしょうか。

南無阿弥陀仏

「法味楽」味わう×楽しむ『仏教』



駐在開教使 村上 響

「神は細部に宿る」

今から十年ほど前に日本で「トイレの神様」という歌が大ヒットし、当時の紅白歌合戦でも話題になりました。この歌は、植村さんがおぼあちゃんとおぼあちゃんを想うという歌詞に起こり、そのタイトルの通り、歌のサビは「トイレには、それはそれはキレイな女神様が宿るんやで。だから毎日キレイにしたら、女神様みたいにならなうんやで」となっています。おぼあちゃんとの思い出を綴った歌の締めくくりは、植村さんが小さい頃の夢だった良いお嫁さんになる為、毎日トイレを磨きながら亡くなったおぼあちゃんを想うというものです。

皆さんは物を大事にされていますか。「トイレの神様」が流行った頃、ちょうど世間では断捨離という言葉が併せて話題になりました。断捨離とは要するに、不要な物を減らして生活空間を整えるということです。言うまでもなく大切な品物の数は人それぞれですが、一見無造作にその辺に散らばっている物が大事(あるいは大切)と言われてもいまい説得力に欠ける気がします。「それでも、もったいないから」と言われてみれば領きそうになります。果たして消費期限の過ぎた個包装のケチャップをいつまでも持ち続けることが本当に物を大切にすることなのでしょうか。

現在、新しい引き取り手を求めて西別院の廊下に中古のお仏壇を展示しております。中古とは言え、状態は比較的良好で、幾らかのお布施を納めて頂くことでお譲りしております。是非

ともご興味のある方は一度来て見て頂きたいと思っております。これらのお仏壇は展示する前に一つ一つ丁寧にほこりや汚れを落としました。比較的新しい物もあれば、中には戦前のもものと思わしき年季の入ったお仏壇も混じっています。正直な所、これらの見た目は少しくたびれており、当初は解体するべきが大変悩ましました。長年ご本尊をその中に納めて、一緒に拝められていたであろうそれを廃棄するのは中々に心が痛みます。悩ましい所ですが、もしかすると欲しい人が現れると思い、しばらく様子を見ることにしました。

こういった経緯から改めて何かを大事にする、あるいは大切に扱うとはどういうことなのか疑問として残ります。考えてもみますと本家の「もったいない」の意味は、その物があるべき使い道を生かしていきたくない様子を惜しむ言葉であるそうです。逆に言えば、そのものが十全に役割を果たした場合は、その限りとは言えませんが、個人的には寧ろ役目を全うしきつたことに感謝をして、次の形に向かわせてあげるのが自然だと思えます。使わないものを後生側に置いておくのも、使い切るのも個人価値観に由るものですが、しかし、物との付き合い方を考えると、世界の見え方も変わってくるのではないでしょうか。

日本では古くから物には魂が宿ると言われています。物に限らず言葉にも魂が宿りますが、もっとも、言葉が力を持つ言葉という意味の場合では、発せられた言葉が実際に現実化されること、つまり、唯の言葉が力を持ち周りに影響を与えることです。いざれにせよ、目には見えない神や魂が何らかの力を持つという考え方は大事な視点でありましょう。南無阿弥陀仏の本願力は、その最たる例であるとも言えます。しかし、それらが真に力を発揮するのは人の手に渡った時です。どんなに崇高な目標も高価な道具も、使われてこそ力を発揮します。

トイレを磨くからべっぴんさんになれるというところではありません。トイレを敬い気遣うことのできる綺麗な心が、磨く人を内側からべっぴんさんにしてくれるのであります。

合掌

「ドライブスルーお盆ファンドライジング」

7月9日、ドライブスルーお盆ファンドライジングが行われた。コロナ感染症が流行ってからすっかりお馴染みの景色となったドライブスルーお盆も今年で三回目となる。例年通り西別院からは今年のオリジナルTシャツとバター焼き鮭などの事前予約制のセットメニューが販売された。当日は各グループからボランティアのスタッフが働きに出てもらって調理、自動車の誘導、デリバリー、注文の仕分けなどが手分けして行われた。それらのお陰で、円滑なドライブスルーお盆となった。

しかし、今年は昨年と違い、ドライブスルーお盆後の盂蘭盆会法要の日に西別院のメンバー限定でミニお盆踊りが行われた。コロナ関連の制約もあり当日は百名程度の参加者であったが、太鼓一座の生太鼓演奏から始まったミニお盆は、イレイン・福本氏を中心に踊りのサークルが自然に出来上がった。小一時間ほど伝統のお盆踊りが行われた。浴衣姿の老若男女が集ったことで久しぶりにかつてのお盆カーニバルの姿が戻ったのではないだろうか。

今年も関係者の方々をはじめ、お手伝いをして下さったボランティアの皆様、ドライブスルーのアイテムを買って下さったメンバーの方々に深く御礼を申し上げます。



「レインガッターレガッタ開幕！」西カブスカウトの今期最後の活動は、レインガッターレガッタ(通称、雨どいポートルース)でした。スカウトの隊員たちは自分だけのオリジナルのポートルースを各自制作して、「雨どい」を使って、ポートルースの技術を磨いてきました。今年も、Liam BarnhartとElijah「Elijah」がカブでの全ての活動を終えて、兄弟組織の部隊738に入隊します。西カブスカウトでは、いよいよ三才までのお子様への入隊を募集しています。次のミーティングは九月の予定です。いつも楽しくモットーに活動をしています。私たちの活動は、Facebookページ(Fb.com/nishicubscouts)で広報しております。

